



家庭教育はすべての教育の出発点!

心地よい秋風が吹き抜ける秋天の候、学校では子どもたちが元気いっぱい学習や運動等に組み合っていることと思います。

さて、本号では、「南房総の風（第2号）」で紹介した生涯学習の中に含まれる3つの教育の内、一つ「家庭教育」についてお知らせします。

「家庭教育」とは

家庭教育は、父母その他の保護者が、子どもに対して行う教育のことです。家庭教育は、乳幼児期からの親子の愛情による絆で結ばれた家族とのふれ合いを通じて、子どもが基本的な生活習慣・生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやりや善悪の判断などの基本的倫理観、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割を担っています。さらに、人生を自ら切り拓いていく上で欠くことのできない職業観、人生観、創造力、企画力といったものも家庭教育の基礎の上に培われるものです。

家庭は、家族が共同生活を営む場であり、団らんや共同体験など愛情に支えられた生活の営みのなかで家庭教育は行われます。また家庭教育には親が意図的に子どもに働きかける場合と、日常生活をおくることで自然に行われる場合があります、後者の作用が持つ影響が大きくなっています。

※「生涯学習・社会教育行政必携」より抜粋

親や家庭を取り巻く状況・・・! ?

※「千葉県家庭教育推進委員会」資料より



親や家庭を取り巻く状況は、日々変化する社会の中で多様化・複雑化してきています。また、近年の異常気象に伴う災害や新型コロナウイルス感染症拡大等々、これまで誰も体験したことのない状況を迎えています。新学習指導要領には、このような状況の中、「子どもたちには豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となるよう、生きる力を育むことを目指す」と示されています。学校教育の教育効果をより高めていくためには、家庭の教育力を高めていくことも、手立ての一つであると考えられます。

千葉県では家庭の教育力の向上をめざし、下記のような取組を行っています。



<千葉県における家庭教育支援事業について>

家庭は教育の原点であり、すべての教育の出発点です。親（保護者）は、人生最初の教師として、豊かな情操や基本的な生活習慣、家族や他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観や社会的なマナー、自制心、自立心などを養う上で、重要な役割を担っています。

このため、千葉県教育委員会では家庭教育の支援について第3期千葉県教育振興基本計画「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」に位置づけて、すべての家庭の教育力向上とその充実を図るため、千葉県家庭教育推進委員会で、本県の実情に応じた家庭教育支援の方策等を協議し総合的な企画・立案を行っています。中でも学校教育に関する取組としては、「学校から発信する家庭教育支援プログラム」の普及啓発や「家庭教育リーフレット」の配付事業があります。

※千葉県ホームページより抜粋

学校から家庭への働きかけ!

①「学校から発信する家庭教育支援プログラム」について

同プログラムは、市原市教育委員会と協働しその研究成果として開発されたものです。平成22年度に県内の保育所や学校等にCD版として配付されています。

②「家庭教育リーフレット」について

家庭の教育力の向上を支援するため、幼児版・小学生（123年）版・小学生（456年）版・中学生版の4種類のリーフレットがあります。

①については、使い方の概要が分かるチラシやポスターを、②については、リーフレットそのものを別添データとして配付します。「学校から発信する家庭教育支援プログラム」は県ホームページからダウンロードすることもできます。すべての家庭の教育力向上を図るため、各学校での御活用をお勧めします。

<令和2年度児童福祉週間標語>

やさしさに つつまれそだつ やさしいところ

(13歳 和歌山県)

※厚生労働省ホームページより

